

「お靴のベッド」871枚

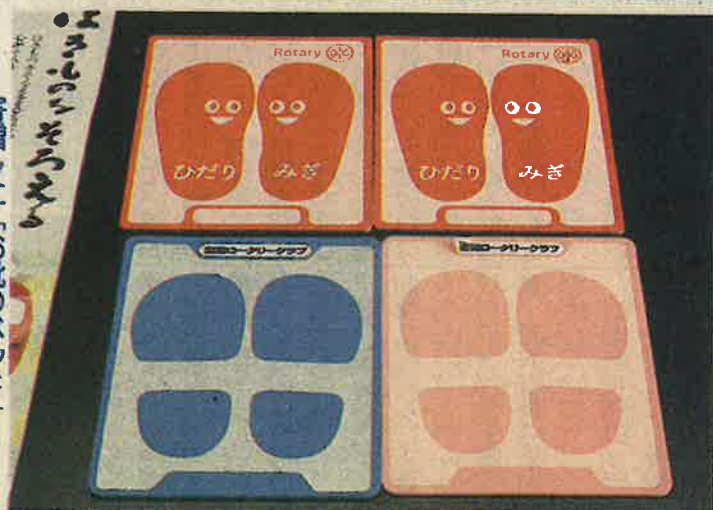
市内の保育園、こども園24施設に寄贈

燕、吉田、分水
ロータリークラブ

市内内の三つのロータリークラブは二十八日、子どもたちから履物をそろえる習慣を身に付けてもらおうと、市内の保育園、こども園合わせて二十四施設に対し、合同で「お靴のベッド」八百七十一枚を寄贈した。



お靴のベッドや礼状を手にする
ロータリークラブ役員と鈴木市長



寄贈した「お靴のベッド」

ロータリークラブ（氏田万有子会長）の三団体。これまでに贈っている。これまでに二十四年間の寄贈総数は一万七千四百八十枚となった。

その役員合わせて七人が燕市役所を訪れ、鈴木市長に目録を手渡した。三団体を代表して目録を手渡した燕ロータリーの藤崎会長は「子どもの数が減っても、お靴のベッドは一足分の靴跡が描かれたマットで、靴棚に敷いて使う。これに合わせて靴を置くと、靴をそろえる習慣が自然と身に付く。」

寄贈したのは燕ロータリークラブ（藤崎滋人会長）、吉田ロータリークラブ（大谷直文会長）、分水ロータリークラブ（氏田万有子会長）の三団体。これまでに贈っている。これまでに二十四年間の寄贈総数は一万七千四百八十枚となった。

「履物をそろえる」という教えに感銘を受けたのがきっかけ。のちに吉田、分水の両ロータリーも趣旨に賛同し、共同の奉仕事業に発展した。

機能は同一ながら、各ロータリーでデザインの違いがあるマットを手に配し、毎年、新入園児全員分に希望数を加えて贈っている。これまでに二十四年間の寄贈総数は一万七千四百八十枚となった。

お靴のベッドは各ロータリーがそれぞれ元の施設に手分けして届けることにしている。

三条ロイヤルホテル
ご法要プラン
 お料理(5-1人前) 6,600円(税込)より
 ご法要など多くの特典・サービスをご用意しております。
 ~ホテルならではのおもてなし~
 三条ロイヤルホテル
 0120(34)8144